

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	熊本県八代市			代表者名	市長 小野 泰輔
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	0965-33-4103
担当者役職	主事	担当者氏名	大塚 圭輔	連絡先E-mail	
住所	866-8601 熊本県八代市松江城町1番25号				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	デジタル人材育成(デジタル意識改革研修)
概要	現在の課題を特定し、デジタル技術を活用した業務改革や問題解決の企画力を養う主に管理職を対象としたワークショップを実施し、参加する管理職の意識改革や行動変化に繋がる研修を実施していただきたい。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) EBPM(エビデンスに基づく政策立案) 生成AI活用 働き方		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和8年2月9日	講演(実地)	10時00分	15時30分	90
			活動時間(分)	240	
2-2. 派遣場所	会場名	八代市役所	最寄駅	八代駅	
	所在地	熊本県八代市松江城町1番25号	最寄駅からの交通手段	バスまたはタクシー	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変良い
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザーは民間企業での豊富な実務経験を基に、DXを単なる技術導入ではなく課題解決の手段として位置づけ、ゲーム形式やグループワークを交えながら分かりやすく研修を実施いただき、受講者は楽しみながら学ぶことができた。特に、タスク管理の方法や部下とのコミュニケーションなど、管理職が直面する実践的な課題に対応した内容であり、すぐにも実践できる具体的な手法であるため、大変参考になった。また、事前に資料の配布を行わず、必要に応じて受講者が自ら記録するというスタイルは斬新であり、受講者の集中力と主体性を引き出し、業務の在り方を改めるきっかけとなり極めて有意義な研修となった。
アドバイザーへの要望事項	来年度もぜひ研修いただきたいと考えておりますので、正式申請の際はご高配ください。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	92人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	92			

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和4年度から令和5年度にかけて地域情報化アドバイザー派遣制度を2回活用し、管理職を中心に研修を実施してきたことで、デジタル技術を取り入れる必要性等の基礎的な知識は全庁的に浸透しつつある。しかしながら、その意識レベルは職員ごとに差があり、個々の職員の理解にとどまっているのが現状で、庁内全体でのDX推進には至っていない。この状況を踏まえ、今後は全庁的にDXを推進するために、職員間の意識レベルの格差を縮小しつつ、職員の課題の発見・改善の意識と実行力を養うことが重要である。さらに、個々の理解を組織全体の取り組みへと発展させ、職員が周囲と協働して自ら困りごとを解決する人材となるような育成に取り組んでいく必要がある
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	研修を受講した職員が各職階ごとに求められる役割を担いながら、全庁的なデジタル化推進に資すること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル意識改革研修の実施 研修時間：10：00～12：00（午前の部）、13：30～15：30（午後の部） 参加者：係長級以上の職員92名（午前・午後の合計）	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	受講者アンケートでは、約9割の職員が「とても満足」または「満足」と回答するなど高い評価となった。意見の中には「目的、ビジョンについて改めて振り返るきっかけを得ることができた」、「仕事を効果的、効率的に進めて、更に成果を上げるためのポイントが理解できた」、「部下の指導方法についてとても参考になった」と前向きな意見が多くあり、参加者の意識改革に大変有意義な研修であったと考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 現時点では途中段階であり、具体的な成果物はない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回研修を受講した職員の意識改革という点では効果的であったと考えるが、これを個々の理解だけでなく組織全体の意識改革の取組へと発展させるには、継続した研修が必要であると考え。来年度以降も外部講師による研修を実施し、組織全員の意識改革を図っていく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 受講者アンケートでは、約9割の職員が「とても満足」または「満足」と回答するなど高い評価となったが、研修時間について意見（時間が短いなど）が多くあったため、次年度以降は研修時間等も再度検討し研修を実施したい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 今年度は係長級以上を対象とした研修としたが、今回の研修内容を鑑み、より実際の業務を行う係員級の職員が受講すべき内容と感じた。次年度以降は参加者の職位に関係なく、研修受講を促していきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタル人材育成による意識改革を図ることで行政が積極的にデジタル化を進め、市民の皆様に信頼される市役所づくりに向けて、新たな取組へ果敢に挑戦し、併せて民間事業者・団体等へのデジタル化を浸透させていくことで地域情報化を推進する。 これらの循環により、デジタル技術を活用した地域課題の解決、利便性の高い行政サービスを実現し、住民への「暮らしやすさ」や「幸福感（Well-being）」を提供すること。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

